



分子神経科学セミナー

16p13.11 微小重複症の候補遺伝子の探索

藤谷 昌司

兵庫医科大学 解剖学講座 神経科学部門 准教授

16p13.11 微小重複は、AD/HDなどの様々な神経発達症の遺伝的リスクとなる。我々は、その候補遺伝子を探索し、発現解析などにより、NDE1及び、更に2つの遺伝子に着目した。その3つの遺伝子をBAC-Tg法によりマウスのゲノムに挿入し、疾患モデル動物を作製した。メスで行動学的異常を示し、組織学的に皮質神経新生異常を示すことが分かった。Nde1が過剰にあっても神経新生に異常を来さず、miR-484とMarf1が過剰にあるとき神経新生が促進されることが分かった。今後は、ヒトの疾患特異的ヒトiPS細胞において原因遺伝子の解析を進めていきたい。

日時 2018年 **3月13日** (火)

17:00～

場所 医学系研究科 講義棟3階 **E** 講堂

お問い合わせ

大阪大学大学院 医学系研究科 分子神経科学

山下 俊英

西原・木曾 (内線 3661)

nishihara@molneu.med.osaka-u.ac.jp